



Amihari  
visitor center

Vol.103  
2022.7



よっこいしょ!

土下座ではあいけません…

amiharinomorinoikimonotachi amiharinomori \* 網張の森の生き物たち \* amiharinomorinoikimonotachi amiharinomori

## “マダラカマドウマ”の脱皮

梅雨らしく曇天や雨が続けていた肌寒いある日の朝、開館作業で外側の正面玄関の扉を少し勢いよく開けた時、“ポトツ”と微かな音と共に何かが床に落ちてきました。見慣れた長い後脚に猫背のまだら模様…。すぐにマダラカマドウマとわかりましたが、お尻の方に何かがかっついていて、何とも複雑な形をしています。床に伏せて見るとどうやら脱皮の途中のようでした。開館作業をしつつ戻ってみると脱皮途中の触覚が楕円状に現れはじめ、つぶらな目からは読み取れないながらも脱皮の最終盤に向けて全神経を注いでいるように見えました。お尻のあたりがモソモソと動き、見るごとに頭が下がりお尻は浮き、まるで土下座をしているようにも見えてきました。さらに頭部が前傾してお尻が上がると、尾肢2本がずるりと出てきました。次に腹部のお尻付近だけが器用にひょいと上がったかと思うと、普段見ている褐色とは異なる半透明の産卵管が“スッ”と現れました。脱皮したての産卵管は儂く見え、体の瑞々しさも相まって近い気持ちが倍增。お尻のあたりの脱皮だけでも約20分。体全体ではどの位の時間がかかるのだろう…？謂れもなくマイナスイメージを持たれていますが、他のいきもの同様に限られた時間の中で懸命に生きる森の構成員でもあります。

What is  
“Madarakamadouma”?

「まだら模様のカマドウマ」

カマドウマ科

体長：約 20~34mm

分布：北海道~九州

林床などに棲み、木のウロや倒木などの樹皮下で見られるほか人家内にもよく現れる。淡褐色で明瞭なまだら模様がある。雑食性で夜間に活動する。バッタの仲間であるカマドウマ類がギンリョウソウなど光合成をやめた腐生植物の種子散布をしているという研究結果も報告されている。

(参考図書：「バツ・コガキ・ナギ」リ生態図鑑）他

amiharinomorinoikimonotachi amiharinomori amiharinomorinoikimonotachi amiharinomori amiharinomorinoikimonotachi amiharinomori amiharinomori



# ソウイモノニワタシハナリタイ

## 空の散歩 #.2

文月、「おくのほそ道」に分け入る



つきひ ぼくだい くわかく ゆき とし またたびひとり まつおはしろう  
月日は百代の過客にして、行かふ年も又旅人也。松尾芭蕉

芭蕉の「おくのほそ道」の序文をご紹介します。  
ここでいう「月日」は暦の上での月日と、天体としての月日とどちらの解釈も可能です。「百代」は非常に長い年代、永遠、「過客」はゆききの人、旅人の意味です。「行かう年」について、「行く年来る年」のように「年」を動的なものとして捉えています。「年」は抽象的な概念ですが、違和感なくしっくりきます。「旅人」の意味はそのままの解釈でよいと思いますが、そもそも「旅」とは自宅を出て、一時他の地に行くことを指すそうです。

私がこの序文に惹かれた訳は二点あります。一つ目は無生物である月日や年さえも、生きとし生けるものように捉えている点です。天台宗本覚思想の「草木国土悉皆成仏」に共通性を感じます。



ヒメボタル行事の帰路にて 「空をあゆむ朗朗と月ひとり」 荻原井泉水

【草木国土悉皆成仏】 草木や国土のように心をもたないものでさえ、ことごとく仏性があり仏になれるということ。

二つ目は、万物は流転する、つまり旅人のようなものだと捉えた点です。ここでいう旅は一般的な旅行ではなく、この世に発現したものはその瞬間に旅が始まり、やがて誰も旅の終わりを迎えるという達観した人生観の事です。私たちがまた旅人だと認識すると、様々守りに入っていた壁が瓦解し気持ちが解放される気がします。とはいえ、そんな仏の心で日頃過ごせる訳でもなく、悩み多き日々を過ごす凡夫の一人として、「ソウイモノニワタシハナリタイ」という一文を付け加えておきます。

参考図書：荻原井泉水『奥の細道ノート』 梅原猛『人類哲学序説』



アミハリ・バーズ  
Vol. 4 5

### クロツグミ

科名：ヒタキ科  
全長：約21.5cm  
生態：夏鳥  
分布：九州以北



鳴き声

シー ツイー ツピー  
キョッキョキョキョ  
キョロイ キョロイ  
ヒーホロツヒーホロツ  
ココケイコケー

K. Hirano '22

高原の歌い手やフルート奏者と例えられるクロツグミは美声の持ち主です。さえずり方も多様で、時に他の野鳥の声を取り入れて自分の持ち歌に加えるようです。大変早起きで、日の出と共に「待っていました」とばかりに忙しく鳴き始めたのを見聞きした事があります。雄は白と黒のシックな色合いですが、雌は雄の黒い部分がオリーブ褐色で、喉元も白地に黒い斑、脇は橙褐色と見た目が異なります。地面を飛び跳ねながら昆虫やミミズを探してはついでにみまますが、その姿を見られるのはまれです。

網張ビジターセンターでは、国立公園の安全な利用、知的な楽しみや魅力をお伝えするために各種印刷物を発行しています。今回は、これまでにどのような印刷物を発行してきたのかを振り返ってみたいと思います。

『網張ビジターセンターパンフレット』 環境省発行

2005年 『網張ビジターセンターパンフレット』発行

A4 判見開きページ両面印刷の初代パンフレット。改修前の館内の様子が表示されており、「植物・礫等の実物アクリル封入」を積み重ねた壁に仕切られ「岩手山の自然コーナー」と「岩手山と人々」の展示コーナー等懐かしい以前の様子が窺われます。



2007年 一新したハンディー版発行

網張ビジターセンターの概要や活動、網張の森の散策コースの案内や魅力、楽しみ方等についてビジュアルな形でコンパクトに組み込まれたハンディー版です。



2021年 『十和田八幡平国立公園フィールドガイド 網張ビジターセンター（岩手山・秋田駒ヶ岳エリア）』発行

2020年12月のリニューアルを機にビジターセンターの他、岩手山・秋田駒ヶ岳エリアも紹介しています。日本語・英語・簡体語・繁体語版があります。



- 無料提供
- 利用者の声：最新版は広範囲のポイントごとのマップが嬉しい。

『岩手山・秋田駒ヶ岳等自然解説ポイントマップ』

2005年 『自然観察ポイントマップ』初版発行

国立公園岩手山、秋田駒ヶ岳一帯を対象とした地形地質、動植物等の自然観察のポイントを1/50,000地形図に表した地図です。（折込みA4判）



2007年 『用語解説参考情報』初版発行

『自然観察ポイントマップ』で使用されている学術的、専門的用語を分かりやすくするため、地形地質、植物、動物、歴史・民俗別の各種用語についてのポケットサイズの解説版を発行しました。併せて岩手山や秋田駒ヶ岳地域の開花・新緑情報、主要登山コースの距離、標準時間、火山ガス、避難小屋、道路開閉時期、周辺山岳の標高比、各種100選との関わり、自然ふれあい施設、関係団体等の連絡先の各種情報についても参考情報として掲載しています。



2007年 『自然観察ポイントマップ』折込みをポケットサイズ化『岩手山・秋田駒ヶ岳等自然観察ポイントマップ』ケース（厚紙製）発行

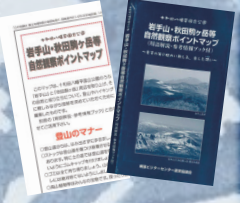
マップと解説版をセットで収容できるケース（厚紙製）を作成し、コンパクトに携帯できるものにしました。

2013年・2017年・2020年 『用語解説参考情報』一部改訂

2021年 『自然観察ポイントマップ』及び『岩手山・秋田駒ヶ岳等自然観察ポイントマップ』ケース一部改訂

国立公園岩手山や秋田駒ヶ岳一帯をより重層的な視点で捉えながら登山を楽しもうという方にもお勧めです。近頃は携帯電話のアプリ等で登山道や現在地を把握することができますが、登山の際には紙の地図を携帯していると安心です。ビジターセンターの他に休暇村岩手網張温泉の売店やリフト券売所等でも販売しています。

- 販売価格：500円（※最新改訂版より700円）
- 利用者の声：
  - ・かつて登った山を懐かしんだり、これから登る山の情報を集めたり、家で広げてじっくり眺めるのも楽しい。
  - ・地図がボロボロになるまで活用し現在2冊目。



『網張の森セルフガイド』

2007年 『網張の森セルフガイド』暫定版発行

セルフガイドは、網張ビジターセンターを拠点としてミズナラやブナ等からなる網張の森を散策する際、セルフガイドの番号と園路に設置してある道標と照合しながら読み解いてゆくと自分で自然観察できるもので、環境省盛岡自然保護管理事務所によって作成されました。

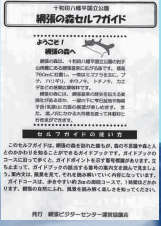
（A4 両面1枚、二つ折り4ページ）

2014年 『網張の森セルフガイド』パンフレット発行

ビジターセンター運営協議会により内容を含めて刷新。白黒からカラー刷りの折込み版として、より使用しやすいものにしました。

2022年 『網張の森セルフガイド』一部改訂

- 無料提供
- 利用者の声：網張の森は木に樹名板がかけられているので勉強になり楽しめる。セルフガイドの情報から森の様子も分かり、道標と地図を照らし合わせることができるので安心して散策できる。



2022年6月発行の最新版

『各種登山マップ』

マップはいずれも1/25,000地形図。歩行時間、駐車場、トイレ、水場、避難小屋情報等をマップ上で確認でき、登山道で見られる花の写真（名前併記）も掲載しています。マップの裏面には、各コースの案内、紹介する山の特徴、登山適期、安全な登山のためのトイレや入山ポスト、避難小屋情報等を掲載しています。ビジターセンターのみで入手できます。利用者に好評いただき、これらの地図を目当てに来館される方も。

2015年 『岩手山網張コースマップ』発行

2016年 『千沼ヶ原・烏帽子岳〔乳頭山〕登山マップ』発行

2018年 『三ツ石山登山マップ』発行

- 無料提供
- 利用者の声：
  - ・コースについて分かりやすい。
  - ・花の写真と名前があるのがよい。
  - ・9合目の不動平避難小屋前のベンチで網張コースの下山ルートを相談している登山者が見ていた地図がビジターセンターのものだった。



『フォトブック』・『各種絵はがき』

2020年 絵はがき『アミハリ・パース』発行

網張で見られる野鳥たちがスタッフのオリジナルイラストで次々に登場。

2020年 絵はがき『岩手山八景』発行

中山大太郎氏撮影による三ツ石山、秋田駒ヶ岳、千沼ヶ原等から望む表情豊かな岩手山の写真です。

- 販売価格：いずれも8枚組セット700円  
各種 1枚100円
- 利用者の声：手紙を書く機会が減ってきたが、いつもこのハガキを使用して友人に出している。



2020年 フォトブック『網張の花』発行

休暇村岩手網張温泉元総支配人を務められた中川良一氏撮影による網張に咲く182種の花を網羅しています。

- 販売価格：700円
- 利用者の声：ゲレンデに咲くシラネアオイの群落を知ることができた。花が咲く順番に掲載されていて見やすい。



実施いたしました行事は、新型コロナウイルス感染症対策に重点をおきながら開催いたしました。今後開催予定の行事につきましても、引き続き対策を講じながら行ってまいります。

## 6/19 市民火山教室 「溶岩はどこから？ 焼走り地形散歩」



焼走り溶岩流散策路に於いて、溶岩の流れ方や溶岩じわの形成要因等を岩手大学の土井先生より丁寧に解説していただきました。溶岩の色の違いや異質の岩石に付着した溶岩の観察等現地ならではの観察も。「現地を歩きリアルに学ぶ意義や深さを感じた」「溶岩にも流れの違いがあることを知った。登山時に確認したい」参加者感想より。

## 7/9～7/13 夏の網張の森ヒメボタル観察会



館内でヒメボタルの一生についてご案内してから夜の森へ。天気の良い日も気温が低く雨の日もありましたが、各日たくさんのヒメボタルの光の舞を見ることができました。「力強い光ですね」参加者より。

## -国立公園で楽しむ親子の自然体験- 7/16「ナイトハイクと 星空観察★」



星図を使った星の探し方やダジック・アースに映し出された映像を見ながらこれからの星の見どころを講師より解説していただきました。ナイトハイクではヒメボタルも見ることができました。最後に雲が切れ、織姫星のベガを観察しました。

## 6/3 フレンド滝沢「春の遠足」



ビジターセンターの館内を見学し、周辺を散策しながらこすり染めに使う草花を採取しました。レンゲツツジなどを素材として、こすり染めで可愛いハンカチが出来上がりました。

## 好評です！ミニ企画アートイベント



毎週土日に開催しているミニ企画では「季節の花スケッチ」や「草花のこすり染め体験」等のアートイベントも好評です。ぜひお気軽にご参加下さい。

## 7/1～7/31 「網張の森 コウモリ展」



(キクガシラコウモリ)

網張の森ではこれまでに7種類のコウモリが観察されています。コウモリの保護を考える会よりご提供いただいた7種類のコウモリの写真、コウモリの棲む森や初めて網張でコウモリが観察された時のエピソードなどを紹介しています。

## インフォメーション



国立公園で楽しむ  
親子の自然体験

## 7/30「よるの森をのぞいてみよう！ コウモリ調査体験と昆虫ライトトラップ」

18:50～20:50 網張ビジターセンター集合  
講師:コウモリの保護を考える会  
三井 秀男 氏 (岩手虫の会)  
定員:親子7組15名 ※定員に達しました  
参加料:大人500円 中学生以下300円

## 8/6「夏休み！親子で楽しむ だて先生の昆虫観察&クラフト体験」

9:30～14:30 網張ビジターセンター集合  
講師:伊達 功 氏 (岩手虫の会)  
定員:親子5組10名 ※定員に達しました  
参加料:大人500円 中学生以下300円

## 8/28「おかわりしたくなる！ 炭火炊飯体験」

10:00～14:00 網張ビジターセンター集合  
講師:坂内 信彦 氏 (炭焼き人)  
定員:親子5組10名 ※定員に達しました  
参加料:大人500円 中学生以下300円

## 9/24「トチの実笛作り♪蓴花あそび入門」

10:00～14:00 網張ビジターセンター集合  
講師:松木 佐和子 氏 (岩手大学講師)  
定員:親子5組10名 ※要予約  
参加料:大人500円 中学生以下300円



## 9/10「鞍掛山麓でキノコと 親しくなろう」(キノコ観察会)

9:30～12:00 たきざわ自然情報センター集合  
講師:原 勝雄 氏 (岩手菌類研究同好会)  
定員:各10名 ※要予約  
参加料:大人500円 小学生以下300円  
共催:滝沢市・滝沢市山岳協会・  
(一社)滝沢市観光物産協会

◆◆ 現在開催中のビジターセンター企画展 ◆◆ 7月1日(金)～8月31日(水)

## - 工藤義之水彩画展『山の景色・風景・出来事』 -



登山を趣味として合わせて水彩画を描いています。今回は山の景色・風景・出来事として風景画だけでなく、山で遭ったこと、見たことを水彩画で描いてみました。高い山でなくても、低い山に登るのも登山です、気楽に“やまのぼり”を楽しみましょう。

—出展者の言葉より—

## モモンガのつぶやき

この3年の間、様々なお別れが続きました。短くはない？人生の中で、お別れのピークとなったのは間違いないと確信できるほどでした。そんな中、ある方から「お別れが続いても、あなたの中に新しい芽が一つ二つと育っているはず。心のギャップをその芽たちが埋めて、また違った森が生まれるのでしょね」とのメッセージ。ピンと張っていたものが少し緩んだように感じました。

10年、20年先の心の森はどうなっているのかな？(佳)



## 十和田八幡平国立公園 網張ビジターセンター

来館者数 ◆ 5月 1,599人 ◆ 6月 1,492人  
朝9時のビジターセンター平均気温 ◆ 3月 8.7℃ ◆ 4月 11℃

## 発行 網張ビジターセンター運営協議会

〒020-0585 岩手県岩手郡雫石町長山小松倉 1-2 (網張温泉)

TEL 019-693-3777 FAX 019-693-3778

URL <http://amihari17.ec-net.jp>

E-mail [amihari@vanilla.ocn.ne.jp](mailto:amihari@vanilla.ocn.ne.jp)

開館 夏期 (4月から10月末まで) 休館日なし 9時～17時